

1. 調査報告概要表

作成日平成21年8月16日

【評価実施概要】

事業所番号	1092400025
法人名	株式会社 彩華舎
事業所名	グループホーム さら
所在地	群馬県甘楽郡甘楽町大字白倉831-58 (電話) 0274-74-7765

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど
所在地	群馬県前橋市大渡町1-10-7群馬県公社総合ビル5階
訪問調査日	平成21年6月30日

【情報提供票より】(21年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 20 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9人	常勤 6 人, 非常勤 31 人, 常勤換算	6.65 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り
	1階建ての 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費	光熱費・食材料費等
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 0 円
または1日当たり			

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	8 名	男性	0 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 88.6 歳	最低	82 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	庭谷クリニック、小幡医院、公立富岡総合病院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは他の法人が経営していたが、利用者を20年度に引き継ぎ、21年3月にスタッフを充実させて、建物はそっくり引き継ぐ形で経営移譲され、新体制でスタートしたという経緯がある。そのため理念も「地域の方々と共に助け合いながら、共に喜び合い、共に過ごしていく」を掲げ、利用者・家族の動揺等を考慮しながら、前の体制が培ってきた「その人らしくありのままに、ゆったりと」を大事に、地域との付き合いや浸透性を引き継ぎいでいる。何をすることも皆一緒というのではなく、その人らしさを大切に個別ケアを実践しようとする新ホームの独自性も発揮している。自然の中で生活を共にしながら、野菜作りや、買い物、保育園児の来所や三味線ボランティア等生活にメリハリをつけながら、楽しみのある日常を提供している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	経営移譲後今回が初めての外部評価である。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目②	自己評価については、職員に振り分けホーム長と施設長がまとめ上げた。 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は偶数月に開催されている。メンバーは前ホームから引き継いだ人と、新たなメンバーで構成されている。ホームの概況説明や系列のホームの見学も行い当法人への理解を促している。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	「さら便り」を発行し日常の生活を写真に付きで報告している。家族アンケートの実施や担当制を用いることで、家族と顔見知りになり、気軽に意見の言える雰囲気づくりを工夫し、意見や苦情等を聞くように努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	前法人が地域出身者ということもあり、その良さを事業継承後も引き継ぎ大事にしている。ホームの立地は小高い丘の上であり、来訪者には近隣の住民が道案内をしてくれたりしてホームの存在は地域に浸透している。隣組に加入したり、地域のマラソン大会の応援に参加したりと近隣住民と交流を深めるように努力している段階である。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員各自が自分で考えた理念をレポートに提出して、その中から職員同士で再検討して、事業所がめざす地域密着型サービスのあり方を端的に示した、独自の理念をみんなで作りあげた。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員みんなで作り上げた理念を各自が日常のケアの振り返り時に活用している。その上でホーム長と管理者がスタッフ会議等で日々の行動に照らし合わせて理念を共有している。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の人々には散歩時に挨拶をしたり、町内の系列のホームと行ったり来たりして存在をアピールしている。隣組に加入したり努力もしている。地元のマラソン大会の応援に参加して、日頃から地域住民との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員各自に自己評価票を分け合って作成した。また、系列ホームの外部評価の内容を回覧して評価の意義を理解した。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	偶数月に運営推進会議を開催している。ホームの概要や状況報告、系列ホームの見学を行い、ホームへの理解を深めてもらい地域情報の共有や親睦の場にも生かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町の担当者へは毎月のホームの入居状況・活動状況報告書と「さら便り」を提出している。「小幡さくらマラソン」を応援したりしながら、地域のネットワーク作りに取り組もうとしている。		
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「さら便り」を発行し日常生活を写真付きで報告している。家族の面会時には職員から生活状況や受診時等の内容について伝え、電話でも状態や経過報告を行っている。連絡頻度は週に1回から少なくとも月に2回の報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族等の来訪時には、話しやすい雰囲気づくりを「おもてなしの気持ち」として心掛けている。家族アンケートの実施や職員を担当制にすることで家族からの意見が出しやすいように取り組んでいる。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者への不安やダメージに配慮し、職員の異動や離職は最小限に抑えるよう努めている。職員退職時は誠実な姿勢で利用者 に説明と挨拶を行っている。家族へは紹介と挨拶をしている。一週間位先輩職員が基本的な対応の仕方等を指導して環境作りに配慮し、共に支援にあたっている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人系列内の研修に参加している。研修参加者は資料等を回覧して、確認の印をもらって、他の職員が共有できるようにしている。	○	法人内の研修のほか、外部研修にも参加して、事業体の違うホームの内容やサービス提供等を学ぶ機会を確保することを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型連絡協議会に加入し、交換研修に参加したり、系列のホームの見学や同地域内の他ホームとの交流も大事にして、訪問し合い、ネットワーク作りを大切にしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に本人・家族に見学・遊びに来てもらい、職員との友好的関係をもとに、信頼関係を構築するようにしている。家族から入居前の様子を聞き、納得して利用できるよう支援している。入居後も安心した生活が送れるように、ホームに馴染んでもらえるように努力している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者一人ひとりのその人らしさを尊重しプライバシーに配慮しながら、共に気持ちを伝え合い、お団子作りや、農作業等を教えてもらい、日常を共有できるように努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その人らしさを大切に日々の観察を通して、接する時間や話をする機会を多く持って、言葉かけやふれあいの中で、本人の言葉や表情、行動等から真意を推し量るようにしている。食事の時間も大まかには決まっているが、そのときの気分に合わせている。困難な場合は、家族からも情報を得て行動を見守りながら意向を確認		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当制を用いて、1日3回の申し送り時やスタッフ会議・カンファレンス等で、担当者が本人や他の職員から情報を収集している。ケアマネジャーも本人の意向・状況観察を行い、主治医・看護師との意見交換も併せて介護計画を作成している		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の定期的な見直しは3ヶ月毎に行っている。状態変化等については本人・家族・職員間で話し合い、本人・家族等の了解を得て、現状に即した新たな計画を作成している。	○	3ヶ月に1度の見直しの他に、本人の変化を見逃さないためにも、月に1度のモニタリングを実施して、現状に即した介護計画の見直しを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	日ごろから本人・家族等の状況を把握して、希望や状況に応じて、受診・買物等必要な支援に対応できるようにしている。訪問理美容やマッサージ希望者には訪問マッサージに来てもらっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による定期往診や受診がある。希望によりかかりつけ医から主治医に変更できる。基本的には家族同行での受診・通院を行っているが、状況に応じて職員が同行、その場合は、受診結果を報告している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療連携体制は看護師を職員として配置している。「看取りに関する指針」を作成している。家族等ならびに医師、看護師・職員が連携し、話し合いの機会をその段階ごとに持つよう関係者が確認している。		
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員からは入職時守秘義務について誓約書を取り付けている。日ごろから、馴れ合いやプライバシーを損ねるような対応には施設長・管理者がその都度指導をしている。記録等の個人情報の取り扱いに関しては、秘密保持の徹底を図るよう努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしさを大切に、就寝・消灯・起床時間を定めない環境作りに努力している。家に帰りたくなる利用者には後ろから後を付いて行く支援をしている。一人ひとりを観察しながらテレビ体操も興味を示すのを待っていたりしている。テレビ、散歩、買物、野菜作り、掃除、レクリエーション等、その人のペースで過ごしてもらえよう柔軟に対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
tok					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は力量に応じて、野菜の皮むき・下ごしらえ、テーブル拭き等出来ることが無理なく出来るように段取りの援助をしている。そうすることで出来ることへの発見にも繋がっている。利用者と職員は同じテーブルを囲み、楽しく食事ができるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間や曜日は設定していない。19時まで入れる体制があり、職員は連携に努め、楽しく入浴ができるよう支援している。		
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	役割は、掃除・洗濯物(干し・たたみ)・草むしり・野菜の収穫等、能力に合わせて継続できるよう支援をしている。楽しみ事では、桜・梅・あじさいの花見やトランプ・体操がある。気晴らしの支援では、地域に出かけたり、他ホームの見学・ボランティアの訪問・1対1のドライブ等の支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	屋外のベンチで日向ぼっこやお茶飲みをしたり、天候や利用者の体調・希望に応じて、散歩・草むしり・農作業に出かけており、日常的に外出支援が行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、職員の見守りにより、日中は玄関と非常口に鍵をかけずに自由な暮らしを支援している。各居室からも自由にベランダに出られる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	今までに本年6月に1回消防署立会いの避難訓練を行っている。今後は12月に予定しており、地域の人々にも災害時の協力を依頼している段階である。	○	年に2回は消防署の指導の下で、消火訓練等の実地訓練をしてほしい。また、災害時に地域住民の協力を得られるよう、具体的な協力体制づくりに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスのとれた家庭料理を基本に嫌いなメニューの場合は代替品を提供している。食事量や水分量はチェック表に記載している。好きな飲み物の把握を行い1日1000ccを目安に支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内は家庭的な雰囲気、テーブルには花を飾り、壁には行事に出かけた写真や、カレンダー・献立表が貼られ、ソファが置かれている。各居室からベランダに出る事が出来、手入れの行き届いた庭へと繋がっている。ホームの窓からは、里山の景色が眺められ遠くには地元を象徴した櫓が見える。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、それぞれ個性が出ている。観音様が飾られ、エレクトーンが置かれ、ソファ、箆筒、鏡・化粧品・家族写真・カレンダー等馴染みのあるものや好みのものが持ち込まれている。ゆっくりとくつろげる居室が工夫されている。		